

オンラインワークショップ：マルチレベルガバナンスと地域間協力に関するオンライン研究会：Vol.1 - The Pacific Arctic

日時：2021年1月12日（火）16:00～17:30（日本時間）

主催：北海道大学 北極域研究センター、同 北極域研究推進プロジェクト（ArCS-II）、同 HaRP 事業、北極圏大学（UArctic）アジアにおける北極圏・北極圏におけるアジア分科会 UArctic Thematic Network on the Arctic in Asia, Asia in the Arctic

登壇者、コメンテーター：ヴォロネンコ アレクサンドル（Aleksander VORONENKO ハバロフスク国立経済法科大学 上海協力機構・アジア太平洋地域研究センター長）、ベネット ミア（Mia BENNETT 香港大学 地理学部 助教）、エスピリトゥ アイリーン（Aileen ESPIRITU ノルウェー北極大学 バレンツ研究所 研究員）、大西富士夫（Fujio ONISHI 北海道大学北極域研究センター 准教授）、ロマーエヴァ マリーナ（Marina LOMAEVA 北海道大学 国際部）

対象者：日露ならびに北極域内外（東アジア等）の研究者、専門家、学生など

概要：本研究会は北極域研究加速プロジェクト（ArCS-II）国際政治課題「複雑化する北極域政治の総合的解明と日本の北極政策への貢献」サブグループ4「非国家主体とパラディプロマシー」ならびに HaRP 専門セクション「SDGs：環境・資源開発・多文化教育」の協力により開催いたします。今後、下記の研究会を予定しています。

1. 第1回 オンラインワークショップ：マルチレベルガバナンスと地域間協力に関するオンライン研究会：北極及び太平洋地域 Vol.1 - The Pacific Arctic（2021年1月12日）
2. 第2回 北極圏と北方圏における日露の地域間協力 - 理論と実践（2021年3月）
3. 第3回 2021年の世界冬の都市市長会（於ロヴァニエミ、フィンランド）ならびに Rovaniemi Arctic Spirit Conference の開催との併催を検討中。

本研究会の目的は日露の活動主体（アクター）の地域間協力における現状と将来の展望を考察・評価することです。また、協力可能な分野を理解し、活動主体（アクター）やフォーラムの可能性と限界を知ること、資源活用効率の向上を図ります。さらに、様々な大学から研究者の参加を募ることで、日露の学術協力の未来に貢献することを目指しています。これらの研究会は2019年、2020年の寒冷地セミナー（HaRP 共催）／北方圏持続可能な開発フォーラムにて構築された協力ネットワークに基づいて開催いたします。

問い合わせ：参加にご関心のある方は氏名、所属機関、ZOOMの招待受け取り用メールアドレスをご記入の上、北海道大学北極域研究センター 助教 サウナワアラ ユハ（Juha SAUNAVAARA）までご連絡下さい。

juha.saunavaara@arc.hokudai.ac.jp

次第（案）

日本時間	次第
16:00～16:05	開催の挨拶 サウナヴァーラ ユハ（Juha SAUNAVAARA 北海道大学 北極域研究センター 助教）
第1部	ゲストによる発表とコメント
16:05～16:30	発表：ヴォロネンコ アレキサンドル（Aleksander VORONENKO ハバロフスク国立経済法科大学 上海協力機構・アジア太平洋地域研究センター長） 『北極海東部における地域間協力：Bering Pacific Arctic Council』
16:30～16:38	コメント：ベネット ミア（Mia BENNETT 香港大学 地理学部 助教）
16:38～16:46	コメント：エスピリトゥ アイリーン（Aileen ESPIRITU ノルウェー北極大学 バレンツ研究所 研究員）
16:46～16:50	コメントへの回答：アレクサンドル ヴォロネンコ
16:50～17:10	討議
第2部	昨今の活動と今後の計画の紹介
17:10～17:15	大西富士夫（Fujio ONISHI 北海道大学 北極域研究センター 准教授）：北極域研究加速プロジェクト（ArCS-II）国際政治課題『複雑化する北極域政治の総合的解明と日本の北極政策への貢献』サブグループ4「非国家主体とパラディプロマシー」（予定）
17:15～17:20	ロマーエヴァ マリーナ（Marina LOMAEVA 北海道大学 国際部 HaRP 事務局）『HaRP 事業における行政機関と民間企業との連携』（予定）
17:20～17:25	発表：エスピリトゥ アイリーン（Aileen ESPIRITU ノルウェー北極大学 バレンツ研究所 研究員）『アジアにおける北極圏・北極圏におけるアジア分科会』（予定）
17:25～17:30	閉会の挨拶（サウナヴァーラ ユハ）

メインスピーカー略歴：ヴォロネンコ アレキサンドル（Aleksander VORONENKO ハバロフスク国立経済法科大学 上海協力機構・アジア太平洋地域研究センター長）

2007年にハバロフスク国立経済法科大学を卒業後、2007～2009年にロシア科学アカデミー極東支部の研究員として勤務。また、2007～2015年に地域間経済交流協会「極東・ザバイカリエ」のコンサルタントとして勤務した。2015年にロシア連邦大統領府極東研究所において研究に従事し、2016年にハバロフスク国立経済法科大学にて博士号を取得。2018年より2年間にわたり同研究所にて主任アドバイザーとして勤務後、ハバロフスク国立経済法科大学 上海

協力機構・アジア太平洋地域研究センター長としての現職に着任。研究論文の執筆 20 本以上。ロシア極東の社会経済の発展に特化した外部経済ダイジェストの執筆 3 本。ワーキンググループ “Bering Pacific Arctic Council” の創始者であり、現在もメンバーを務めている。本ワーキンググループは 2019 年、ロシア・アメリカ太平洋岸パートナーシップ (RAPP) のハバロフスク会合において創設された。主たる目的はベーリング海、太平洋、北極海における二国間評議会を設立する可能性と必要性の探索ならびにその構造案と規則の策定である。

詳細 : <https://www.arc.hokudai.ac.jp/en/201204-2/>